

目標達成計画

作成日：平成23年 2月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	入居されてある方が抑圧感を感じられず、安全に生活できる環境を作り、施設の弊害を家族に説明し、解錠に向ける	解錠へ向けて実践できる	家族会、地域運営推進会議等で話し合いを行い、検討し解錠へ向けて実践できる意見交換を行う	12ヶ月
2	14	人権教育について、高齢者虐待や法令遵守といった勉強会、研修等を行っているが、男女差別等といった基本的な人権への教育までは行っていない	基本的な人権学習への視野を広げ、職員への周知を行う	地域の中の公民館等で行っている人権の講習会などを利用し、人権学習、教育へつなげる	12ヶ月
3	25	一人ひとりの思いや暮らし方これまでの生活環境を崩さないようセンター方式を活用しているが、新しく入居される方も継続していく	新任職員等にもセンター方式の活用への理解を行い、本人らしく暮らして頂けるよう本人への理解を深める	家族や本人などから積極的に情報収集を行い、センター方式を活用しながら支援していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。